

建交労大阪府本部



第23回府本部委員
2019年2月10日(日)
13時から国

大阪市長選挙のダブル選挙が予定されており、一致する要求に基づく政党との協力共同の立場で、安倍自公政権打倒、維新政治打破のチャンスを活かそうと呼びかけました。

8時間働けば人間らしく暮らせる職場と社会へ

2019春闘勝利！1・31怒りの労働者総行動

1・31怒りの労働者総行動は、大阪春闘会議と大阪労連との共同開催によって、1月31日(木)早朝～終日行動で取り組まれました。早朝宣伝は、JR天王寺駅となんば・一栄前の2カ所に分かれての行動になり、建交労はなんば・一栄前に集結しました。早朝での宣伝行動参加者は府本部役員4名、関西支部4名、大阪合同支部2名、関西合同支部2名の参加でした。また、早朝宣伝で荻田書記長が弁士として発言「建設・運輸業は危険を伴う職種である事に加えて、長時間労働のため人手不足であるにもかかわらず、



荻田書記長



大阪労連菅議長

21回総会は、2019年2月11日(月・祝)10時から国労大阪会館1階ホールにおいて、活動方針のスローガンとして「憲法改悪阻止！戦争法とアベ(働き方改革法)阻止！」、

府本部第23回委員会



前村執行委員長

大阪府本部第23回委員会において開催されました。冒頭のあいさつで、府本部執行役員を代表して前村執行委員長は「2019年春闘を勝利させるために、営利優先・利益第一主義による財界・大企業の横暴との闘いであり、社会的責任を求めぬ闘いである。」また、「誰もが8時間働けば普通暮らし、その為に、4月に行われる統一地方選挙・7月に行われる参議院選挙、遅くとも10月には大阪府知事・

大阪トラック部会第21回総会 組織建設に奮闘しよう！を掲げ開催されました。大阪トラック部会・幹事会を代表して、芦崎トラック部会長が挨拶され、「昨年12月に貨物自動車運送事業法の一部改正により、最



低運賃制限が時限立法で成立された。期が過ぎ、今後は、この進め方を今後、どう進めようか、これが重要であり、若者から魅力ある業種にしていかなければならない。また、改正された事により、2019年春闘と2020年春闘は、トラック労働者の労働条件改善の絶好のチャンスだと今後の展望について力強い発言をされていた。

ました。続いて、鷹巣事務局長から運動方針として「大阪トラック部会、早期の500人部会の回復」そして「1,000人大阪トラック部会を目指す」方針が提案されました。議案は、第1号議案「2018年度一般経過報告、運動方針案」第4号議案の次期大阪トラック部会新役員の手による確定しました。大阪トラック部会第21回定期総会全体の参加者は役員7名、代議員14名、傍聴者2名、合計23名の参加者でした。



芦崎部会長



鷹巣事務局長

2019年トラック部会 新役員

部会長	植西 茂	(関西合同支部)
副部会長	菅原 孝二	(此花支部)
事務局長	鷹巣 準	(大阪合同支部)
幹事	芦崎 光夫	(関西支部)
	南場 英之	(関西支部)
	東 徹司	(関西支部)
	宮川 大輔	(大阪合同支部)
	米田 順一	(大阪合同支部)
	前川 良彰	(関西合同支部)
	十川 孝文	(関西合同支部)
会計監査	梅林 宏浩	(此花支部)
	北山 浩	(此花支部)

学習会のお知らせ

「次世代活動家育成」

第3回目「現代社会と社会変革」
＜日時＞2019年3月23日(土)
13時30分～
＜場所＞国労大阪会館
＜講師＞勤労協 妹尾 知則 先生

「労働組合の原則と役割」

第1回目「労働組合の原則」
＜日時＞2019年4月14日(日)
10時～
＜場所＞国労大阪会館
＜講師＞勤労協 中田 進 先生

第2回目「労働組合と日常的な要求闘争」
＜日時＞2019年5月12日(日)
10時～
＜場所＞国労大阪会館
＜講師＞未定

第3回目「労働組合と労働立法・制度的諸要求の闘争について」
＜日時＞2019年6月9日(日)
10時～
＜場所＞国労大阪会館
＜講師＞未定

大阪府本部組織拡大宣伝行動



大阪府本部は、春闘での組織拡大目標として50名を掲げ、その内、新規加入組合員20名を目標とし、2月16日（土）13時からJR天満駅において宣伝行動を取り組みました。府本部と荻田委員長のマイクをにぎり、働き方改革をにぎり、物価も上がっ

は過労死ラインまで容認するものである。このように悪法を阻止するためには、労働者が労働組合に加入し、団結した力によって政治のしくみを変えなければならぬ。また、春闘について「労働者への実質賃金が下がり続け、物価も上がっ

ていっている中、大規模な賃上げの実現が必要である。にもかかわらず、安倍自公政権は、消費税を10%に引き上げようとしている。これでは、人間らしい暮らしが出来ない」と訴えかけ、労働組合への加入を呼びかけていました。

参加者は全部で5名、内府本部役員4名、此花支部1名の参加でした。

西日本鉄道本部新春宣伝行動

西日本鉄道本部は2月13日11時から天王寺電区、天王寺車掌区前、天王寺駅東口で春闘宣伝行動を行いました。宣伝ではJR西日本の人減らし合理化、格差賃金などの施策を批判するとともに、大企業などの横暴、消費税増税の阻止や生活を守る為、統一地方選挙と結合して春闘を闘おうと訴えビラを配布しました。この行動には大阪鉄道地本から5名が参加しました。



大阪トラック部会 地方局要請行動

大阪トラック部会は、運輸業界の現状と労働条件改善をめざすための運動として、2月25日（月）10時～14時までの間、近畿運輸局と大阪労働局に要請に行きました。この要請行動は3月7日の中央行動に合わせて、同じ要請内容を地方局からの声を各府庁にすくい上げるため、取り組みました。

午前10時から近畿運輸局に要請に行き、冒頭のあいさつで大阪トラック部会・植西部会長は、「運輸業界の現状は長時間労働に加え、低賃金であるため、若者からも敬遠される業種になっていく。この問題を解決しないと益々、高齢者ばかりが残る事になり、人手不足になる。」という切実な現状を語っていました。

次世代活動家育成講座

大阪府本部は、次世代活動家を育成するため、幹部候補生を対象に、2月23日（土）13時30分から国労大阪会館第2小会議室で開催しました。

第2回目となる学習会は、「資本主義社会経済のしくみ」をテーマに、関西勤労協・楠田マミさんを講師に招いて行いました。

容でした。学習会参加者からは、「今日の学習会を通じて、賃金とは何か、何故、労働者は働いても生活が楽にならないのか。良く分かり勉強になった。」という発言もありました。参加者は、大阪合同支部2名、関西支部2名、関西ダンブ支部1名、此花支部1名、全体で6名の参加者でした。



意見交換では、芦崎事務局長は「現在も長時間労働が続いているので、ここを改善していく必要がある。また、不規則労働になっていくので健康管理が中々出来ない」という運輸業界の問題点を指摘し、改善を再度要請しました。

午後13時から大阪労働局に要請に行き、鷹巣副部長から「歩合給制で働いているドライバーは、走っている時は賃金が付くけども待機している時は賃金が発生していないのが実態です。大阪労働局は、歩合給であっても総労働時間で最低賃金が割っていないければ良いと考えているのか？」という質問が出されましたが、大阪労働局からの回答は「総労働時間で最低賃金を割っていないのかを見るので、待機時間中の賃金が発生していないという見方をしません。」という回答でした。感想としては、法律が変わらない限り、



植西トラック新部会長

運輸業界で働くドライバーは最低賃金ギリギリで働く事になり、長時間労働しなれないと人間らしい暮らしが出来ないと事となり、今後も粘り強く要請を続け改善していかねければならないと実感しました。

参加者は、植西部会長、鷹巣副部長、菅原副部長、芦崎事務局長と府本部から荻田書記長が参加されました。

仲間作りスタート宣伝行動

労働組合に入って、働くルールを守らせよう！

大阪労連主催で「仲間づくりスタート宣伝」が3月1日（金）大阪市役所前で行われました。「仲間づくりスタート宣伝」は、多くの労働者を労働組合にむかえ労働条件の改善と労働者が主体となる社会づくりをめざす事を目的に宣伝行動を取り組みました。

冒頭のあいさつで大阪労連・菅議長は「19春闘が始まり、我々労働者の賃金・労働条件を変えるたたかいと同時に、安倍政権の暴走政治と維新政治を終わらせ政治の絶好のチャンスが大阪府知事・大阪市長と春の統一地方選挙、7月に行われる参議院選挙です。8時間普通に働けば人間らしく生きる事が出来る世の中にしていくため、一人でも多くの仲間が労働組合に加入していただき、社会を変えていかなければならない。」と述べていました。また、各組織の代表者が弁士としてマイクをにぎり、建交労を代表して荻田書記長は、「建設・運輸業は危険を伴う職種であることに加え、

長時間労働が蔓延しているため、人手不足であるにもかかわらず、若者からも敬遠され年配者の割合が年々ふえている業種になっている。運輸で働く人についても8時間働けば人間らしく生きる事が出来る労働条件の確立をめざし、一人でも多くの労働者が労働組合に加入し団結した力によって力関係を変えていく事が重要である。」

また、「現在、大阪府の最低賃金は936円、8時間労働で1ヶ月22日働いたとしても月額賃金は16万4,736円にしかならないから、やむを得ず長時間労働になっている。さらに夫婦共働きしないとまともな生活が維持出来ない状況になっていきます。また、子供を産んだとしても共働きしている家庭が多い状況で、子供を預ける保育所や幼稚園すら、まともな確保が出来ていない状況の中、どうして少子高齢社会を解消出来るのか。こんな自民・公明与党政権を早く終わらせ、労働者が主人公になれる社会づくりをめざすため、一人でも多くの労働者が労働組合に加入していただき、力関係を変え、政治を変えていく組織づくりをめざします。」という決意を語られていました。

小さな掛金で大きな保障

火災共済

- だんぜん安い掛金
- 家財だけでも加入OK!
- 火災以外にもワイドに保障
- 風水害もカバー
- 諸費用共済金でさらに安心

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

全労連共済

思いがけない事故に強～い味方

自動車共済

1. 等級別割引・割増の継承可能!
2. 24時間フリーダイヤル事故受付!
3. 割安な共済掛金、補償は充実!
4. 組合員の立場で示談交渉!
5. 車両共済・人身傷害共済 その他特約あり

まずはFAXで見積りを!

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

全労連共済



万一の病気・不慮の事故にそなえて

医療共済

1ヵ月わずか1,000円(100分)の掛金で

病気入院 連続4日以上180日限度 日額5,000円	病気休業通院 連続10日以上90日限度 日額2,500円
不慮の事故入院 1日以上180日限度 日額5,000円	不慮の事故休業通院 連続10日以上90日限度 日額2,500円

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

全労連共済

